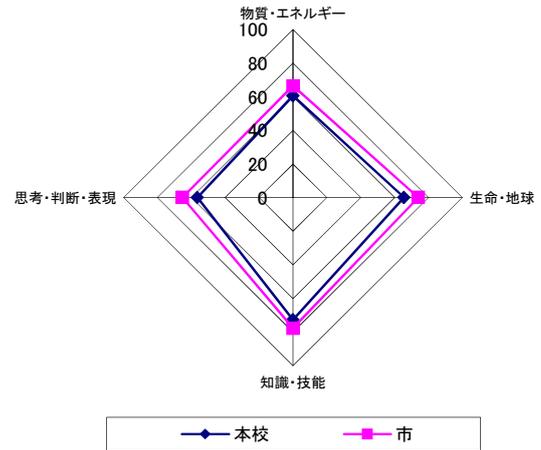


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	60.6	66.5	66.3
	生命・地球	65.5	74.0	72.6
観点別	知識・技能	72.6	77.6	78.2
	思考・判断・表現	56.4	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>本校の平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○実験の進め方や実験に用いる用具の使い方についての設問では、市の正答率とほぼ同等である。特に、ろ過の仕方に関する設問では、市の正答率を8.1ポイント上回っている。</p> <p>●結果から特徴や傾向を分析する設問では、市の正答率より低く、特にふれはばとふりこの周期に関する設問で市の平均を大きく下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験後の結果や分析を自分の言葉で表現させることで、科学的な思考力や表現力を高められるようにしていく。 ・既習事項と比較したり関連付けたりしながら考えることが苦手な傾向がみられるため、基礎的な知識の定着を図るとともに、応用問題にも挑戦させながら思考力を高めていく。
生命・地球	<p>本校の平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○台風による被害やその対策に関する設問では、市の正答率とほぼ同等である。</p> <p>●動物のからだのつくりとはたらきに関する設問では市の正答率を大きく下回っており、体温に近い温度が約何℃であるかを答える設問で、市の正答率を12.1ポイント下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体の内部のつくりや月と太陽の位置関係などの、実際に自分で体感しにくいものについては、一人一台端末を利用して視覚的にとらえさせたり、体感を伴うような実験を行ったりすることで、より理解を深められるようにしていく。